

掲示板のことば

自分自身が
助かれば
先祖も
助かる

2018.09

仏事をお勤めするとき、例えば法事や、お盆・お彼岸のお参り、月命日のお参りのとき、誰のためにお勤めしているのでしょうか？

おそらく、亡くなった方々、つまりご先祖が安らかでありますように、もしかすると、成仏して下さるように…、とお勤めをしているのではないのでしょうか？ しかしそれは、仏教ではありません。

仏事をお勤めするという事は、亡くなったお身内をご縁にして、今を生きている私たちが、仏の教えに出会う大切なときなのです。

ご先祖が安らかであるかどうか、それは、私たちが心安らかに生きているのかという問題なのであり、ご先祖がどこにいらっしゃるのか、それは、この私のいのちが、どこに往（ゆ）こうとしているのかという問題なのです。そのことに迷っているのは、生きている私たちなのでしょう。

そのように迷っている私たちに、仏の教えをよりどころに生きてほしいと、亡き方々は願っておられます。その願いを聞くことが仏事を勤めるといことなのです。ですから、私が仏の教えを聞き、迷いのいのちが救われることで、ご先祖の願いが満足するのです。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹